

## 第3次計画の各分野における目標及び参考指標に係る進捗状況

## 【全体目標】

項目	目標
がんで死亡する県民の減少	遅くとも第4次計画期間内(H36～H41)に75歳未満の年齢調整死亡率(人口10万対)全国1位

## 【参考指標】

項目	現状(計画策定時)	進捗状況	目標	現状の出典
75歳未満の年齢調整死亡率(人口10万対)	73.1人 (H28) 【全国16位】	69.8人 (H30) 【全国19位】	58.0人	(国立がん研究センターがん対策情報センター)

## 【分野目標及び参考指標】

## (1-1) 生活習慣の改善, 感染症対策等によるがん予防(1次予防)

項目	現状(計画策定時)	進捗状況	目標	現状の出典	
<b>ア たばこ対策の強化</b>					
◎ 禁煙・分煙実施の県・市町の施設の割合	公共機関	98.8%	99.7%	100%	
	学校	100.0%			
	病院	100.0%			
		(H28.12)	(H30.12)	(広島県がん対策課)	
飲食店等における喫煙の可否等の表示の実施率	31.6% (H28年度)	—	100%	(広島県がん対策課)	
飲食店における受動喫煙の機会を有する者の割合	32.5% (H28年度)	—	12%以下	県民健康意識調査(広島県)	
◎ 喫煙率	成人男性	23.5%	—	18%以下	
	成人女性	5.8%			
		(H29年度)		県民健康意識調査(広島県)	
<b>イ 感染症対策の強化</b>					
◎ 肝炎ウイルス検査受検率	39.2% (H27年度)	45.4% (H30年度)	55%以上 (H33)	(広島県業務課)	
<b>ウ 生活習慣の改善</b>					
1日野菜摂取量	273g (H28年度)	—	350g以上	国民健康・栄養調査(厚生労働省)	
1日平均歩数	20歳～64歳	成人男性	8,200歩	—	県民健康意識調査(広島県)
		成人女性	8,320歩	—	
	65歳以上	成人男性	7,254歩	—	
		成人女性	6,538歩	—	
		(H29年度)			
適正体重を維持している人の割合	肥満	20～69歳男性	32.2%	—	県民健康意識調査(広島県)
		40～69歳女性	14.3%	—	
	やせ	20～29歳女性	10.9%	—	
				(H29年度)	
				26%以下	
				11%以下	
				8%以下	
多量飲酒者の割合	成人男性	3.7% (H29年度)	—	3.2%以下	県民健康意識調査(広島県)
	成人女性	1.4% (H29年度)	—	0.2%以下	
アルコール健康障害普及啓発事業実施市町数	18市町 (H28年度)	全23市町 (R元年度)	全市町	(広島県健康対策課)	

(1-2) がんの早期発見, がん検診(2次予防)

項目	現状(計画策定時)	進捗状況	目標	現状の出典	
<b>ア 科学的根拠に基づくがん検診の実施</b>					
市町における, 科学的根拠に基づくがん検診の実施	全23市町 (H29年度)	全23市町 (R元年度)	全市町で継続実施	(広島県がん対策課)	
<b>イ がん検診の質(精度管理)の向上</b>					
◎ 市町検診の精密検査受診率 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんのみ20歳～69歳〕	胃	75.8%	77.1%	90%以上 (H33)	地域保健・健康増進 事業報告 (厚生労働省)
	肺	70.0%	72.6%		
	大腸	66.4%	68.3%		
	子宮	72.5%	73.1%		
	乳	82.6%	86.6%		
◎ 市町検診の精密検査未把握率 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんのみ20歳～69歳〕	胃	18.9%	16.5%	5%以下 (H33)	地域保健・健康増進 事業報告 (厚生労働省)
	肺	24.2%	23.7%		
	大腸	24.1%	19.9%		
	子宮	24.3%	23.2%		
	乳	15.2%	11.0%		
国報告書による事業評価項目を8割以上 実施の市町数	胃	9市町	14市町	全市町	(広島県がん対策課)
	肺	11市町	13市町		
	大腸	10市町	12市町		
	子宮	11市町	14市町		
	乳	10市町	13市町		
<b>ウ がん検診の受診率向上</b>					
◎ がん検診受診率 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんは20歳～69歳, 胃がんは50歳～69歳〕	胃	40.5%	—	50%以上 (H34)	国民生活基礎調査 (厚生労働省)
	肺	42.1%	—		
	大腸	38.8%	—		
	子宮	40.2%	—		
	乳	40.3%	—		
◎ 市町実施のがん検診受診者数 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんは20歳～69歳, 胃がんは50歳～69歳〕	胃	53,899人	47,102人 (1.2割減)	5割増	地域保健・健康増進 事業報告 (厚生労働省)
	肺	78,402人	73,900人 (0.6割減)	4割増	
	大腸	86,942人	80,184人 (0.8割減)	5割増	
	子宮	151,278人	137,949人 (0.9割減)	3割増	
	乳	89,612人	79,250人 (1.2割減)	3割増	
「広島県がんよろず相談医」による受診勧奨を実施する市町数	2市町 (H29年度)	2市町 (R元年度)	全市町	(広島県がん対策課)	

(2) がん医療

項目	現状(計画策定時)	進捗状況	目標	現状の出典	
<b>ア 医療提供体制の充実強化</b>					
◎ 拠点病院の機能強化と医療連携の充実による、がん医療の均てん化の推進	全7医療圏に拠点病院整備 (国指定11, 県指定5) (H29年度)	全7医療圏に拠点病院整備 (国指定11, 県指定4) (R元年度)	全7医療圏に拠点病院整備	(広島県がん対策課)	
がんゲノム医療の拠点整備	なし (H29年度)	6施設 (R2.1)	1施設以上の国指定	(広島県がん対策課)	
◎ 希少がんの医療提供体制の拠点化の推進	現状把握が不十分 (H29年度)	—	拠点化の推進及び県民への情報提供の充実	(広島県がん対策課)	
臓器がんの早期発見患者の割合	7.3% (H24年)	11.0% (H29年)	現状より増 (H34)	(広島県がん対策課)	
◎ 小児がんの医療提供体制の拠点化の推進	広島大学病院等を中心に一定の集積 (H29年度)	広島大学病院等を中心に一定の集積 (R元年度)	集約化の推進と連携強化	(広島県がん対策課)	
生殖機能温存治療を受けた患者数	26人 (県立広島病院) (H28年度)	28人 (県助成事業実績) (H30年度)	現状より増	(広島県がん対策課)	
<b>イ 医療内容等の充実</b>					
◎ がん治療の各分野の人材育成と適正配置等	拠点病院の「放射線治療専門医」数 (HIPRAC含む)	計24人	計25人	10人増	拠点病院現況報告
	拠点病院の「医学物理士」の配置 (HIPRAC含む)	8/17拠点病院等	7/16拠点病院等	全拠点病院等	
	拠点病院の「がん放射線療法看護認定看護師」の配置 (HIPRAC含む)	8/17拠点病院等	8/16拠点病院等	全拠点病院等	
	拠点病院の「がん薬物療法専門医」の配置	10/16拠点病院 (H28.9)	9/15拠点病院 (R元.9)	全拠点病院	
	拠点病院の「がん薬物療法認定薬剤師」の配置	13/16拠点病院	10/15拠点病院	全拠点病院	
	拠点病院の「がん化学療法看護認定看護師」の配置	15/16拠点病院	14/15拠点病院	全拠点病院	
	各圏域の拠点病院の病理専門医(常勤)の配置	13/16拠点病院	13/15拠点病院	全拠点病院	
拠点病院の「薬剤師外来」等の薬物療法の副作用対応 拠点病院におけるがん患者指導管理料3算定件数	3,897件 (H28年度)	4,437件 (H29年度)	現状より増	(広島県がん対策課)	
拠点病院のリンパ浮腫への対応 (リンパ浮腫複合的治療料算定病院数)	2/16拠点病院 (H28年度)	6/15拠点病院 (R2.2)	全拠点病院	(広島県がん対策課)	
拠点病院におけるがん患者カンサーボード実施回数(2ヶ月)	614回 (H28年度)	1,748回 (H30年度)	現状より増	拠点病院現況報告	
周術期口腔機能管理計画策定料を算定する医療機関数	160施設 (H28年度)	—	320施設	(広島県歯科医師会)	
拠点病院におけるがん患者リハビリテーション実施件数	114,704件 (H28年度)	—	現状より増	(広島県がん対策課)	

(3-1) がんと診断された時からの緩和ケア

項目	現状(計画策定時)	進捗状況	目標	現状の出典	
<b>ア 施設緩和ケアの充実</b>					
緩和ケアチームへの依頼件数が増加した拠点病院数	—	7施設 (H30年度)	全拠点病院	(広島県がん対策課)	
◎ 苦痛のスクリーニングの実施件数が増加した拠点病院数	—	8/15拠点病院 (H30年度)	全拠点病院	(広島県がん対策課)	
緩和ケア評価指標を活用する医療機関数	—	—	全ての緩和ケア病棟・チームを有する医療機関	(広島県がん対策課)	
緩和ケアに係る院内評価を行う体制が整備されている拠点病院数	—	15/15拠点病院 (H30年度)	全拠点病院	(広島県がん対策課)	
<b>イ 緩和ケアに携わる人材の育成・確保</b>					
◎ 多職種人材育成、緩和ケア医師研修の充実	緩和ケア研修の医師の受講率が90%以上の拠点病院数	3/11拠点病院 (H28年度)	2/11拠点病院 (H30年度)	全拠点病院(国指定)	拠点病院現況報告
	緩和ケア研修を受講している拠点病院以外の医師数	病院:389人 診療所:361人 (H29年度)	病院:423人 診療所:392人 (R2年1月)	現状より増	(広島県がん対策課)
	緩和ケア研修を受講している拠点病院の薬剤師、看護師数	—	125人 (R2年1月)	現状より増	(広島県がん対策課)
	ELNEC-Jの受講者数	471人 (H28年度)	722人 (H30年度)	130人増	(日本緩和医療学会)
	緩和ケア・がん性疼痛看護認定看護師数	81人 (H28年度)	90人 (R元年12月)	10人増	(日本看護協会)

(3-2) 相談支援, 情報提供

項目	現状(計画策定時)	進捗状況	目標	現状の出典
<b>ア がんに関する情報提供・普及啓発</b>				
◎ 「広島がんネット」のアクセス件数	88,540件 (H28年度)	69,823件 (H30年度)	前年より増	(広島県がん対策課)
「Team がん対策ひろしま」の登録企業等数	51社 (H29年度)	100社 (R元年度)	100社	(広島県がん対策課)
広報紙により普及啓発を実施している市町数	15市町 (H28年度)	21市町 (H30年度)	全市町	(広島県がん対策課)
市町の普及啓発イベント開催回数	121回 (H28年度)	271回 (H30年度)	前年より増	(広島県がん対策課)
◎ 学校保健計画に「がん教育」を位置付けている公立学校数	—	R2年度調査予定	全公立学校	(広島県教育委員会)
<b>イ がん患者・家族等への相談対応</b>				
◎ 全てのがん患者が相談支援を受けられる体制を整備している拠点病院数	—	5/15拠点病院 (R元年度)	全拠点病院	(広島県がん対策課)
告知を受けたがん患者ががん相談支援センターを利用している割合	21% (H28年度)	21.1% (H30年度)	前年より増	(広島県がん対策課)
相談支援センターの院外相談件数	1,824件 (H28年度)	1,275件 (H30年度)	前年より増	(広島県がん対策課)
相談支援センターの患者サロン参加者数	3,030人 (H28年度)	3,196人 (H30年度)	前年より増	(広島県がん対策課)
◎ ピア・サポートに対応できる拠点病院数	1/16拠点病院 (H29年度)	11/15拠点病院 (R元年度)	全拠点病院	(広島県がん対策課)
がんサロンを開催しているがん患者団体等の数(広島がんネットの掲載団体)	10団体 (H28年度)	13団体 (R元年度)	全患者団体等	(広島県がん対策課)
がん患者団体等に対する「Team がん対策ひろしま」の登録企業等の支援回数	166回 (H28年度)	403回 (R元年度)	前年より増	(広島県がん対策課)

(3-3) 社会全体で取り組む、がん対策・がん患者支援

項目	現状(計画策定時)	進捗状況	目標	現状の出典
<b>ア 医療連携体制の充実</b>				
拠点病院の地域連携パスの適用患者数 (2ヶ月)	肺	31件	23件	
	胃	47件	59件	
	肝	16件	21件	現状より増 (広島県がん対策課)
	大腸	30件	40件	
	乳	97件	122件	
<b>イ 在宅緩和ケアの充実</b>				
◎ 在宅緩和ケアの提供体制の整備	在宅緩和ケア推進モデル事業の実施 (H29年度)	圏域地对協で介護福祉関係者研修の実施及び検討の場を設置 (H30年度)	在宅緩和ケアの拠点づくり	(広島県がん対策課)
がん患者が病院以外の自宅等で死亡する割合	12.2% (H28年度)	12.9% (H30年)	現状より増	(広島県がん対策課)
◎ がん患者に対応できる地域包括支援センター数	—	34施設 (H30年度)	全地域包括支援センター	(広島県がん対策課)
緩和ケア提供体制について検討する場を設けている拠点病院数	—	5/15拠点病院 (H30年度)	全拠点病院	(広島県がん対策課)
地域緩和ケア連携調整員を配置している拠点病院数	—	3/15拠点病院 (H30年度)	全拠点病院	(広島県がん対策課)
緩和ケア事例検討会等を定期的で開催している拠点病院数	—	7/15拠点病院 (H30年度)	全拠点病院	(広島県がん対策課)
在宅緩和ケア充実診療所加算届出施設数	8施設 (H29年度)	10施設 (R元年)	現状より増	(広島県がん対策課)

(3-4) がん患者等の就労を含めた社会的な問題

項目	現状(計画策定時)	進捗状況	目標	現状の出典
<b>ア 治療と仕事の両立支援</b>				
ハローワークや社会保険労務士等との就労支援の連携体制を構築している拠点病院数	4/16拠点病院 (H29年度)	14/15拠点病院 (R元年度)	全拠点病院	(広島県がん対策課)
◎ 拠点病院の両立支援コーディネーター養成研修の受講者数	6人 (H29年度)	25人 (H30年度)	32人	(広島県がん対策課)
療養・就労両立支援指導料の算定件数	—	2件 (H30年度)	現状より増	(広島県がん対策課)
療養・就労両立支援相談体制充実加算を算定している拠点病院数	—	1/15拠点病院 (H30年度)	現状より増	(広島県がん対策課)
◎ 「Team がん対策ひろしま」の登録企業等数【再掲】	51社 (H29年度)	100社 (R元年度)	100社	(広島県がん対策課)
就労支援体制の診断指標を活用する企業等数	—	—	現状より増	(広島県がん対策課)

(3-5) ライフステージに応じたがん対策

項目	現状(計画策定時)	進捗状況	目標	現状の出典
<b>ア 小児・AYA世代への支援</b>				
◎ 生殖機能温存治療を受けた患者数【再掲】	26人 (県立広島病院) (H28年度)	28人 (県助成事業実績) (H30年度)	現状より増	(広島県がん対策課)
◎ 拠点病院の両立支援コーディネーター養成研修の受講者数【再掲】	4人 (H29年度)	25人 (H30年度)	32人	(広島県がん対策課)
<b>イ 高齢者への支援</b>				
◎ がん患者に対応できる地域包括支援センター数【再掲】	—	34施設 (H30年度)	全地域包括支援センター	(広島県がん対策課)